

令和3年 尾道観光俳句

入選作品一覧

【選　者】片山　由美子（「香雨」主宰）

【募集期間】令和三年四月～一二月

【投句数】九三一句（一般七九四句　ヤング一三七句）

【ぼんぼり掲載】千光寺公園

令和四年三月一九日（土）～四月一七日（日）

【問合せ先】尾道商工会議所 0848-22-2165（電話）

0848-25-2450（FAX）

主催 尾道商工会議所

共催 （一社）尾道観光協会

後援 尾道市・尾道市教育委員会

尾道しまなみ商工会

【特 別 賞】

最優秀賞

桜散る音無き音を聴いてをり

広島県

久保 紘子

〈選評〉 とめどなく散る桜に音のないことの不思議。

聞こえるはずのない音に耳を凝らしているというのが神秘的だ。

優秀賞

きざはしの一段ごとに秋の声

神奈川県

角田 智子

一天を占めて千本桜かな

広島県

松浦 ヒトミ

尾道商工会議所会頭賞

大寺の真昼牡丹にまみえけり

福岡県

森永 一正

(一社)尾道観光協会会长賞

水道をしずかに照らす冬入日

広島県

佐々木 大輔

尾道市長賞

石段の凹みへ落花千光寺

広島県

平本 魚水

尾道市議会議長賞

小春日や港眼下に千光寺

佐賀県

井上 敏彦

尾道しまなみ商工会長賞

潮風や島から島へ春はこぶ

埼玉県

柳 隆介

ヤング特選

初日の出眼下に臨む瀬戸の海

広島県

段上 結人

千光寺へおちばといつしょにロープウェイ

広島県

益盛 秋穂

八 選【一般の部】

尾道の島から島を跨ぐ虹	兵庫県	平山 卓
秋風に潮のにおいがまじる町	岡山県	濱野 裕平
秋晴や指で数へて瀬戸の島	広島県	宮永 直美
あじさいや雲のまにまに千光寺	広島県	小林 篤
初挽ぎの檸檬のあおき瀬戸田かな	岡山県	竹本 崇吉
しまなみの風にふかれて桜まう	東京都	宮入 麻紀子
子と会えぬ淋しさ知るか秋の雲	広島県	野田 典子
新緑の風にさそわれ千光寺	広島県	那須 幹生
咲き残る金木犀の香や嬉し	広島県	平田 達雄
初もうで千の光とご来光	岡山県	吉野 倫香
坂の街師走の道をかけおりる	岡山県	豊福 博
初紅葉平山郁夫記念館	大分県	岡田 哲郎
シトラスの香りと共に流す汗	福岡県	上月 花織
千光寺晩夏の雨のかりかな		

ロープウェイ海から涼風上りくる	東京都	高田 拓弥
朝焼の鐘が鳴るなり千光寺	広島県	島谷 夏輝
人の居ぬ坂に響きし蟬の声	千葉県	石原 聖也
夏のにほひすぎさりし日々よ千光寺	千葉県	有巣 翰大
千光寺紅葉まじわる鐘の音	千葉県	網代 朋恵
ひかる波行きかう舟に秋の朝	千葉県	角田 哲志
秋雨の千光寺坂下りけり	千葉県	奥田 積
坂の上若葉輝く千光寺	千葉県	三野 めぐみ
太陽とレモンの花咲くいくちじま	埼玉県	門間 令夏
秋雨の濡らすきざはし玉の浦	千葉県	山中 たけを
尾道の夏まだ白き朱印帳	京都府	山田 将矢
風吹けば山より聞こえせみの声	京都府	吉田 海咲
千光寺への坂道の法師蟬	京都府	瀬野 光人
くさり岩踏破雷声を収む	奈良県	山崎 玲於
振り向けば群青の海に緑さす	大阪府	岩田 大志郎
秋風にふかれて歩く千光寺	大阪府	大京 加奈

花冷の入江を眺む千光寺

静岡県

田中 秀幸

苔むして西日に光る小道かな

神奈川県

青島 圭佑

瀬戸内のさざなみに日矢冬うらら

神奈川県

有賀 鈴乃

結婚の報告若葉の夫婦岩

神奈川県

峰松 由実

瀬戸内の港町へと秋の旅

東京都

宮田 ちゅら

のぼりきて色なき風や観音坂

東京都

山本 一人

せみの声かき消すような笑い声

兵庫県

速水 勇樹

八 選【ヤングの部】

紅葉の寺から見おろす山陽線

福岡県

木崎 翔嶋

瀬戸内海遠くに見える師走の雨

岡山県

豊福 百々葉

白息を気にもとめずに千光寺

愛知県

淡島 一真

山の上瀬戸内見渡す彼岸花

千葉県

星野 瑛斗

あじさいにすいてきキラキラ雨上がり

東京都

大さわ あんず